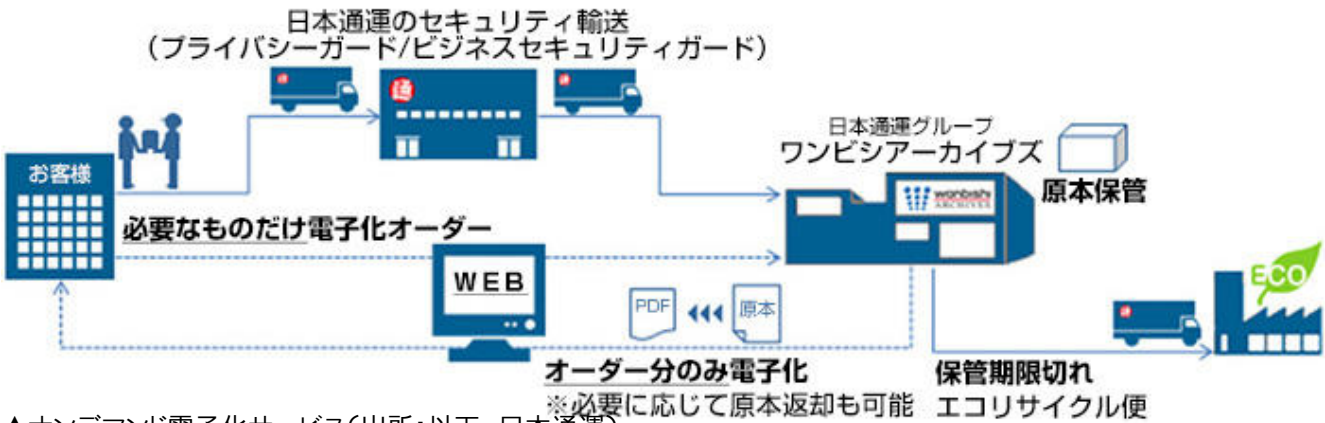


日通、ワンビシと連携し文書電子化・保管の新商品

Edited By LogisticsToday On 2017/05/18

日本通運は18日、傘下のワンビシアーカイブズが高いセキュリティーで輸送、保管、電子化、溶解処理を一括で受託する新サービス「スマートスキャンニング」の販売を開始したと発表した。ワンビシアーカイブズの文書保管や電子化ノウハウと、日通のセキュリティー輸送の機能を組み合わせた。

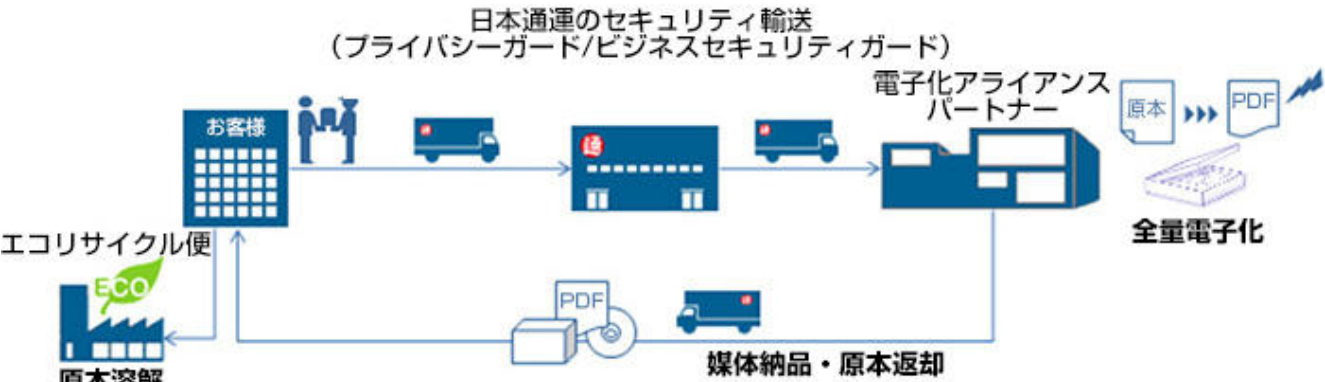
顧客の重要文書をすべて預かって保管し、顧客の要求に応じて「必要な時に必要な物だけ電子化」する「オンデマンド」メニューと、顧客の重要文書をすべて電子化し、不要書類を整理する「フル電子化」メニューの2種類を用意。



▲オンデマンド電子化サービス(出所:以下、日本通運)

オンデマンド電子化サービスでは、ウェブ上の閲覧ページに電子化した文書を掲載し、保管期限切れとなった書類はエコリサイクル便で運搬、溶解処理を行う。必要に応じて原本の返却にも応じる。

フル電子化サービスは顧客の重要文書を「全量電子化」し、不要書類を整理することで省スペース化を図るもので、BCP対策としても利用できる。



▲フル電子化サービス

2つのメニューでは、ともに機密書類を一般貨物との分離輸送、ITと人によるダブルチェックを徹底して溶解処理工場まで搬入する「エコリサイクル便」を利用し、集荷から溶解処理まで全工程未開封で取り扱うことで、情報漏洩のリスクに配慮する

。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/288966>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.